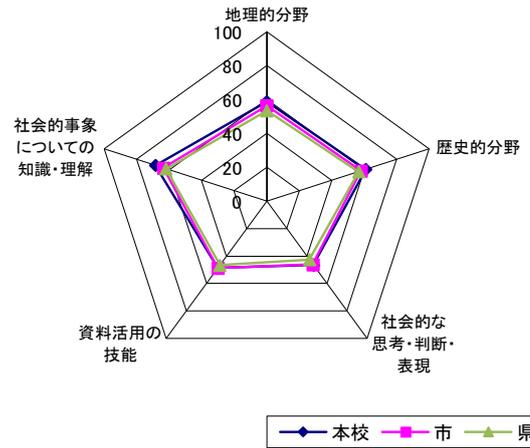


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理的分野	58.8	56.4	53.5
	歴史的分野	61.0	58.0	56.6
	社会的な思考・判断・表現	46.5	46.1	42.5
	資料活用 の 技能	48.5	48.6	46.5
	社会的な事象についての知識・理解	68.5	63.6	61.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>○地理全体では、県の平均正答率を5.3ポイント上回った。また「世界各地の人々の生活と環境」、「世界の諸地域(南アメリカ)」では、県の平均正答率をそれぞれ8.7ポイント、12.3ポイント上回った。</p> <p>●「世界の地域構成」では、県の平均正答率を1ポイント上回ったが、市の平均正答率を1ポイント下回った。</p>	<p>・世界各地の人々の生活と環境の領域は、写真・VTRなどの資料を扱うこともあり、興味を持ちながら学習を進めている生徒が多い。しかし、資料をもとにして考える項目になると、正答率が下がる傾向がある。資料活用 の 力、さらに資料をもとにして判断する力をつけるため、資料を多面的に考えさせたり、判断させたりする機会を増やしていく。</p>
歴史的分野	<p>○歴史全体では、県の平均正答率を4.4ポイント上回った。また、「縄文時代～古墳時代」、「鎌倉時代～室町時代」では、県の平均正答率をそれぞれ7.2ポイント、6.8ポイント上回った。</p> <p>●「歴史のとらえかた」では、県・市の平均正答率をそれぞれ0.7ポイント、1.1ポイント下回った。</p>	<p>・西暦何世紀かを答えさせる問題の正答率が低かった。歴史上様々な年代の表し方を再確認していく。また、資料を読み取って記述式で答えさせる問題の正答率が低かった。様々な歴史資料を基に、多面的に考察させまとめさせる授業を時代ごとに展開していく。</p>